

タキタキッズプラザ



病児保育室だより No.12
11月発行

立冬(11月)紅葉も増々深まってまいりました。

10月下旬から11月上旬にかけて、熱、鼻汁、咳等ご利用される方がふえてきました。
気管支炎や気管支喘息、肺炎等の幼子環にヒトシホウイルスは流行時期です。

病児保育室も「床暖房」を入水したり、乾燥をやわらげる「蒸気加湿器」を稼働させ、
常時「空気清浄機」(浄化作用ウイルスやカビ菌などを吸着する除菌イオン放出)をつけて
一日が終わると保育室全体に殺菌灯をつけて、常にベストの環境づくりを
つとめています。

安心してタキタキッズプラザの病児保育室をご利用下さい。



女医先生のお話



今秋は、涼しいと思いつつ急に寒くなりましたので、
比較的強い胃腸風邪が流行しています。地球の温暖化
で、秋は、春のスズメバチ症の人がありました。年々病気の
変化に驚いておられます。インフルエンザ流行も、前
して、手洗いうがいをしましょう。今回は、当施設の看護師
さんにも、お話を聞いていただきます。

こんにちは。看護師です。病児保育における私達の役割についてお話
したいと思います。以下のようなことを行なっています。

1. 病児の受け入れ

- ① 保護者の方にお話をきく
 - ・いつからどんな症状があるのか
 - ・主治医、おくり内容の確認
 - ・緊急時の対応について、お連絡先
 - ・お迎えにはとなたが来られるか
- ② 病児の観察、検温

- 2. 保育中、症状変化時の対応
(お熱があれば全薬を使用するなど)
- 3. 病児診察の介助
(医師への状態報告、処置など)
- 4. 昼食、おやつなど食事摂取状況観察
服薬。



※ 医師、保育士、管理栄養士と十分な連携をとりながら、
医療面、保育面共に万全の体制で保育しております。

